

米ナス試交系統 5 号の栽培技術



写真 試交 5 号の果実

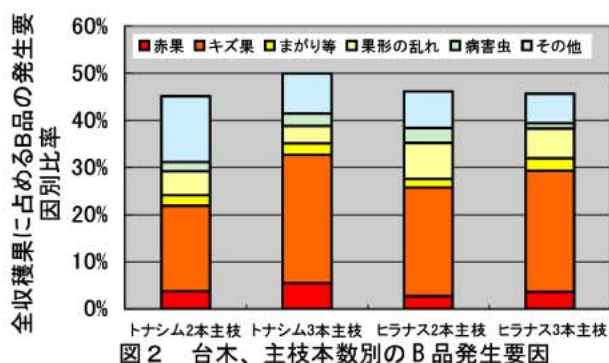


図2 台木、主枝本数別の B 品発生要因

当センターで育成された米ナスの試交 5 号(写真)は、太郎早生より品質に優れ、高い収量性が期待されています。しかし、赤果の発生や、草勢が強い時期の果形の乱れが課題となることから、夏秋栽培に適した台木（ヒラナス、トナシム）や主枝本数について検討しました。その結果、収量は、トナシム台 3 本主枝（株間 70cm）でやや少なかった以外は、ほぼ同等でした（図 1）。赤果の発生については、台木および主枝本数の違いによる差はみられませんでした。

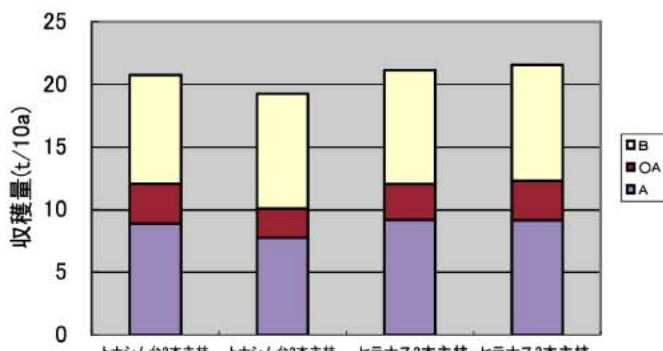


図1 台木、主枝本数別の品質・収穫量

注) 耕種概要：定植日：2007年4月26日、栽植密度：うね幅180cm、株間70cm（2本主枝は45cm）調査期間：2007年5月28日～11月30日

表 苦土欠乏症状の発生状況

品種・系統名	試交5号	試交5号	試交5号	試交5号
台木品種	ヒラナス	ヒラナス	トナシム	トナシム
主枝本数	2	3	2	3
欠乏症状	—	—	+-	+

注) 表中の(—)：発生なし、(+-)：下位葉わずかに症状がみられる。

(+)：下位葉に症状がみられる(調査日：9月13日)。

果形の乱れは、ヒラナス台に比べトナシム台で少なく、台木が同じ場合は主枝本数が多い方で少ない傾向でした(図2)。ただし、トナシム台では、盛夏期に苦土欠乏症状がみられ(表)、3本主枝の場合には、ほとんどの株の下位葉で症状がみられており、減収の要因のひとつと考えられます(図1)。

今後は、施肥量やかん水方法について検討を進め、草勢の維持管理に優れた栽培体系の確立を図る予定です。

(山間試験室 植田祥平 0887-72-0058)

高知県農業技術センターニュース 第52号

平成20年7月1日

農業技術センター

〒783-0023 高知県南国市廿枝1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

農業技術センター山間試験室

〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王3523-7

TEL (0887) 72-0058

FAX (0887) 72-1544

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/se/home/>

編集発行 高知県農業技術センター

所長 前田 幸二

果樹試験場

〒780-8064 高知市朝倉丁268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/kaju/index.htm>

茶業試験場

〒781-1801 吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/tya/index.htm>